



BAINCOUTURE 大阪ショールーム、「本町」でリニューアルオープン

第98期 第2四半期報告書

2022年4月1日－2022年9月30日

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度は新しい3ヶ年中期経営計画の初年度です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が徐々に緩和し始めた一方で、世界的な物価上昇ならびに資源不足が続いており、経営環境は目まぐるしく変化しております。

当社グループにおきましては、急激な円安進行による恩恵の一方で、原材料等高騰による利益圧迫リスクに強く晒されました。そのような先行きが不透明な状況のなか、中期経営計画に掲げた各施策を着実に実行した結果が徐々に実を結びつつあります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、住宅環境機器事業、機能性セラミック商品事業および陶磁器事業のすべての事業においても増収となり、なかでも、陶磁器事業が、新型コロナウイルス感染拡大による行動制限の緩和ならびに経済が回復に向かっている海外市場を中心として大幅に回復いたしました。

収益面では、特に機能性セラミック商品事業における主力製品の生産量の増加に伴う大幅な増益が牽引し、連結全社で増益となり、第2四半期としては、5期ぶりの営業黒字計上となりました。

中間配当につきましては、利益剰余金がマイナスとなっている状況を鑑み、大変申し訳ありませんが無配とさせていただきますが、第98期の黒字化および早期復配に向けて、経営理念「お客さまに選ばれる会社になることを目指して～挑戦・信頼・知恵～」のもと、役員・社員が一丸となり、時代の変化に合わせた新商品の開発や新しい分野への挑戦など、常に進化することを目指し、収益力の向上と財務体質の改善ならびに経営基盤の強化に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月
代表取締役社長

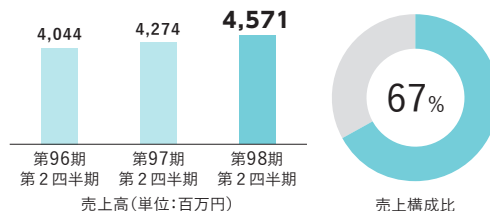
三谷 明子



住設環境機器事業

[主な商品]

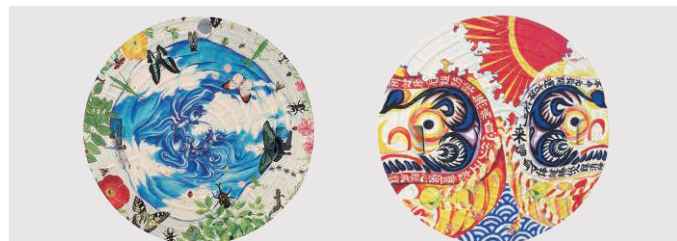
浄化槽、産業廃水処理システム、ディスポーザー生ごみ処理システム、多機能内装建材、除臭調湿材、オーダーメイドシステムバスルーム



- ◎主に集合住宅やコンビニエンスストア等の事業所向けに使用される環境に配慮した中型浄化槽の新商品を上市しました。
- ◎新たに豪雨対策として、雨水浸透貯留槽や災害発生時に便利なマンホールトイレの販売等、浄化槽周辺ビジネスも強化しています。
- ◎自社製ディスポーザー「CIALAC(シャラク)」がデベロッパーに浸透し、新築マンション向けの受注が順調に伸びています。新規リフォーム店の開拓を推進し、ディスポーザーの買替需要にも対応しています。
- ◎バンクチュールを製造する際に生じる廃棄タイルを陶磁器事業部の工場加工し、再生したサステナブルな食器「uptile dish(アップタイルディッシュ)」を発売しました。
- ◎今後は事業のサーキュラー化を推進するとともに、事業部間シナジーを生むことで、バンクチュールならではの価値を訴求していきます。



「水の王さま」の絵本をもとに作成したラッピング浄化槽



TOPICS

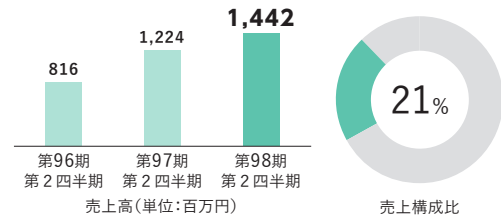
水の大切さを伝える活動

「水の王さま」をラッピングした展示用浄化槽を作成しました。また、三重県立志摩高校の美術部員のみなさまに向けて、水資源や浄化槽に関する講話を開催し、浄化槽のマンホールに作品をラッピングしました。こうした活動を通じて、水の大切さを伝えていきます。

機能性セラミック商品事業

[主な商品]

セラミック基板、グレーズ基板、LTCC基板、圧電体、回路基板



廃棄タイルをアップサイクルした食器「uptile dish(アップタイルディッシュ)」



大阪ショールーム「本町」でリニューアルオープン
BAINCOUTURE(バンクチュール)は、9月に大阪ショールームを中之島から本町に移転し、リニューアルオープンしました。「時を仕立てる」というコンセプトのもと、浴室だけでなく、前後の繋がりをイメージできるようにすることで、お客さまのライフスタイルをイメージーションしやすく、快適にお風呂作りができる空間を提供しています。

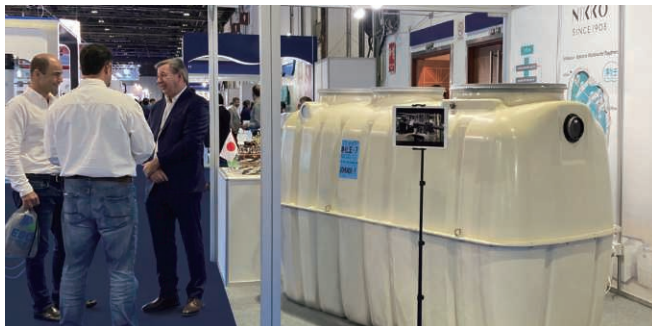
TOPICS

◎グレーズ基板商品の販路拡大、受注増加に伴い、生産体制の強化を図っています。歩留まり改善にも取り組み、収益性と品質を向上させ、市場への貢献度を高めていきます。

◎新たに自動化プロジェクトを推進し、来期以降の導入を見据えた工場生産ラインの自動化に着手しています。また生産管理情報や工程品質データをネットワーク上で一元管理することで生産性の向上を図っていきます。



生産ラインの自動化



浄化槽の海外展開

海外で開催された環境展示会に浄化槽を出展しました。高性能でコンパクトな当社の浄化槽が多くの方の関心を集め、大盛況でした。今後も海外展開を拡大していくため、積極的に展示会への出展を進めていきます。

TOPICS



部門横断生産性改善活動

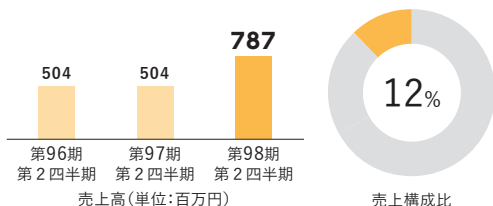
97期より本格的に取り組んできた活動の成果発表会を開催しました。各グループともに事業部全体に関わる横断的な活動が自然に取り込まれる形となり、次の展開にも繋がる活動を目指していきます。

TOPICS

陶磁器事業

[主な商品]

陶磁器製テーブルウェア/卓上小物、金属製カトラリー、
グラスウェア、ホローウェア



- ◎「LOST AND FOUND TOKYO STORE」では、捨てられる食器を肥料とした「BONEARTH(ボナース)」で栽培したとうもろこしの販売イベント等を行いました。サステナブルな活動は多くのお客さまにブランド認知度を上げる効果がありました。
- ◎インスタライブ等を通してデッドストックの販売企画を実施し、滞在在庫の削減と商品価値の再認知活動を進めています。
- ◎オリジナル品の販売において、国内一貫生産のメリットを活かした納期短縮がお客さまから評価されています。
- ◎国内外の有名ブランドとのコラボ案件が増加し、当社の特長を生かした商品開発が進展しています。
- ◎「BONEARTH」の認知度が高まり、ギフトパッケージに加え、家庭菜園用1kg、業務用20kgをリリースしました。
- ◎サーキュラーエコノミーの実現に向けてご協力いただけるレストラン・農家との連携を深めていきます。



「HERALBONY(ヘラルボニー)」とのコラボレーション



新しいライフスタイルプロダクトの発売
Takram Japan株式会社と共同で開発した「Table Planter(テーブルプランター)」を自社オンラインショップおよび「LOST AND FOUND TOKYO STORE」で8月に販売開始しました。人と植物が同じツールで生活する新しいライフスタイルを提供します。

TOPICS



「DISK(ディスク)」と「BONEARTH(ボナース)」がグッドデザイン賞を受賞



「BONEARTH®」の効果

石川県白山市の有限会社中本農園と「BONEARTH」を使ったとうもろこしの試験栽培を行い、肥料の効果が確認できました。他の野菜でも試験を進めています。

TOPICS

CSR

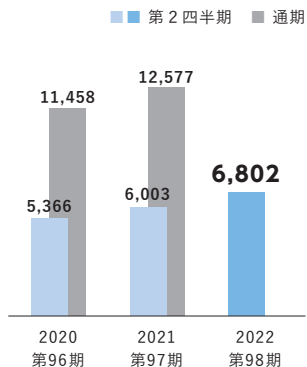


2022年8月の集中豪雨により被災した新潟県村上市の仮設住宅を10月に訪問し、食器をお配りしました。また、2022年8月の石川県小松市の梯川氾濫により被災した方々にも小松市役所を通して食器をお送りしました。被災されたみなさまにお見舞い申し上げますとともに、被災された地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

CSR

連結業績ハイライト

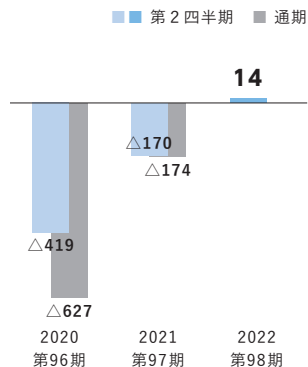
■売上高 68億2百万円



(単位：百万円)

(年度)

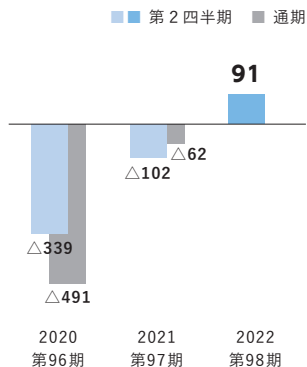
■営業利益 14百万円



(単位：百万円)

(年度)

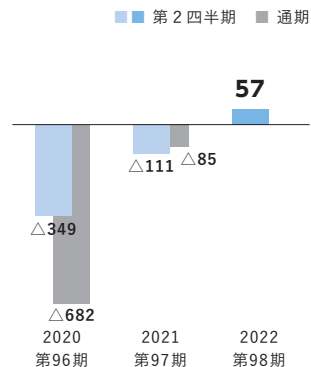
■経常利益 91百万円



(単位：百万円)

(年度)

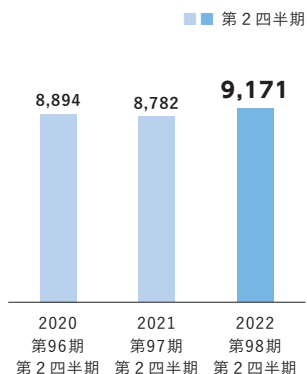
■親会社株主に 帰属する四半期純利益 57百万円



(単位：百万円)

(年度)

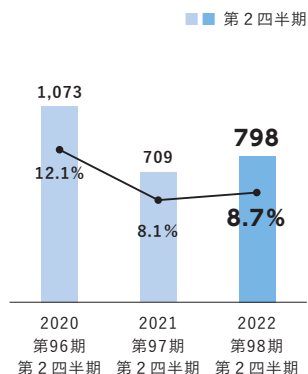
■総資産



(単位：百万円)

(年度)

■純資産/自己資本比率



(単位：百万円)

(年度)

■第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	第97期 (第2四半期) 2021年4月1日～ 2021年9月30日	第98期 (第2四半期) 2022年4月1日～ 2022年9月30日
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140	△111
為替変動による現金及び 現金同等物への影響額	0	8
現金及び現金同等物の増減額	△338	95
現金及び現金同等物の期首残高	1,278	932
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	939	1,027

会社概要

(2022年9月30日現在)

商号	ニッコー株式会社	NIKKO COMPANY
創業	1908年(明治41年)5月11日	
設立	1950年(昭和25年)8月18日	
資本金	34億70百万円	
従業員	連結 604名	
事業内容	住設環境機器事業、機能性セラミック商品事業、陶磁器事業	
事業所	本社	本社、東京本社
	工場	白山工場、埼玉工場、鶴来工場物流センター
	ショールーム	本社、東京、大阪、名古屋
	営業所	東京、大阪、名古屋、埼玉、千葉、つくば、宇都宮、前橋、盛岡、仙台、金沢、静岡、和歌山、広島、高松
グループ会社	国内	ニッコーロジスティクス株式会社
	海外	NIKKO CERAMICS, INC.(米国) PATRA PORCELAIN CO., LTD.(タイ) N&I ASIA PTE LTD.(シンガポール)

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	24,172,000株
株主数	5,412名

株主名	持株数	持株比率
三谷 充	5,712千株	24.51%
三谷産業(株)	2,936千株	12.60%
(株)日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・TDK(株)退職給付信託口)	2,408千株	10.33%
公益財団法人三谷育英会	1,123千株	4.82%
(株)北陸銀行	809千株	3.47%
(株)北國銀行	809千株	3.47%
三谷(株)	594千株	2.55%
三井住友海上火災保険(株)	400千株	1.72%
(株)みずほ銀行	240千株	1.03%
(有)北都代 行 社	140千株	0.60%

(注)持株比率は自己株式864,654株を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先)〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎ 0120-782-031 (インターネットホームページURL) https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛をお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記の電話照会先にご連絡ください。

公告の方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができないときは日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所	名古屋証券取引所	メイン市場
---------	----------	-------

役員

(2022年9月30日現在)

取締役会長	三谷 充	社外取締役	岩田 隆次
代表取締役社長	三谷 明子	社外取締役	原 丈人
常務取締役	三谷 直輝	社外取締役	武山 政直
取締役	森 浩一	常勤監査役	吉田 伸
取締役	長谷 勲	社外監査役	澤 滋
取締役	池田 聡	社外監査役	松田 均
取締役	布川 一哉	社外監査役	村瀬 孝子

ニッコー株式会社

本社 〒924-8686 石川県白山市相木町383 電話:076-276-2121 FAX:076-276-3309
東京本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1 住友不動産千代田ファーストウイング2F
電話:03-5214-1530 FAX:03-5214-1550
メールアドレス:info@nikko-company.co.jp URL: <https://www.nikko-company.co.jp/>